インボイス制度＆電帳法の運用をシンプルに実現

『インボイスdeDXサービス』

法制度対応と業務環境の改善を同時に実現

～　新たなお客様提案に向けた新商材　～

2023年３月
合同会社サザンブリッジ

自己紹介

■富士通在職中、クラウドサービスやセキュリティ関連の企画・開発

■退職後、IT・システム化による新事業創生や業務改革コンサル

■某小売業のコンサルで、『インボイス制度＋電子帳簿保存法』に適用可能なWebオーダーシステムを開発、２年以上運用中

■上記システムをベースに富士通在職時より交流を継続中の、

・ 各種スペシャリストとの共同企画・開発を実施
『インボイスdeDX』をクラウドサービスとしてリリース
：マジックソフトウェア
：ウィットソフトウェア

インボイス制度とは

インボイス(適格請求書)を用いて消費税の仕入税額控除を受けるための制度

実施義務

売り手（インボイス発行側）

- インボイスの発行
- 発行インボイスの控え保存

インボイス

（適格請求書）

仕入れ税額控除のために

買い手（インボイス受領側）

- インボイス発行事業者の確認
- インボイスの受領と保存

適格請求書とは、税率毎に区分された消費税額を明示した領収書などのこと

①インボイス制度実施後

- 免税事業者との取引き　又は
- 適格請求書の無い取引き　は

仕入れ税額控除が受けられません

➡ 同じ売上でも、納税する消費税が増加

②インボイスの保存は

- 受領側の買い手　　と共に
- 発行側の売り手　　も必要

インボイス保存では

➡ 電子帳簿保存法の対応を考慮要

電帳法の電子取引について

電子帳簿等保存（電帳法 第4条1項・2項）

- PC等で作成した帳簿等（決算や取引関係書類)を、電子データのまま保存すること
- 本条項は「容認規程」（＝取り組みたい**事業者が任意で行うもの**）

スキャナ保存（電帳法 第4条3項）

- 紙で作成・発行した取引関係書類をスキャナで電子化し保存すること
- 本条項は「容認規程」（＝取り組みたい**事業者が任意で行うもの**）

電子取引（電帳法 第7条）

- **電子データで相手先へ送付または相手先から受領した取引情報を、電子データのまま保存すること**
- **本条は「義務規程」（＝該当する場合には、必ず要件を満たすべきもの）**

電子インボイスは電帳法で７年間の長期保存が義務となります。その対応は？

電帳法に対応するインボイスの保存要件

真実性の確保

以下のいずれかの措置を行うこと

1. タイムスタンプが付された後、取引情報の授受を行う
2. 取引情報の授受後、速やかにタイムスタンプを付すとともに、保存を行う者または監督者に関する情報を確認できるようにしておく
3. 訂正や削除を確認できるシステム、または訂正や削除を行うことができないシステムで取引情報の授受および保存を行う
4. 訂正や削除の防止に関する事務処理規定を定め、それに沿った運用を行う

可視性の確保

保存場所に、電子計算機（パソコン等）、プログラム、ディスプレイ、プリンタおよびこれらの操作マニュアルを備え付け、画面・書面に整然とした形式および明瞭な状態で速やかに出力できるようにしておくこと

電子計算機処理システムの概要書を備え付けること

検索機能を確保すること※

1. 取引年月日その他日付、取引金額、取引先について検索できること
2. 日付または金額の範囲指定により検索できること
3. 2つ以上の任意の記録項目を組み合わせた条件により検索できること

改ざん対応ではタイムスタンプは論理的に非常に強力。
しかし、運用やコストの負荷は高く、なにより相応のスキル要。

最大の問題はデータそのものの削除には何の制約もない。
従って、自社サーバ＋タイムスタンプの運用は『？』のレベル。

訂正や削除を行うことができないシステム
➡ **最強の真実性の確保**

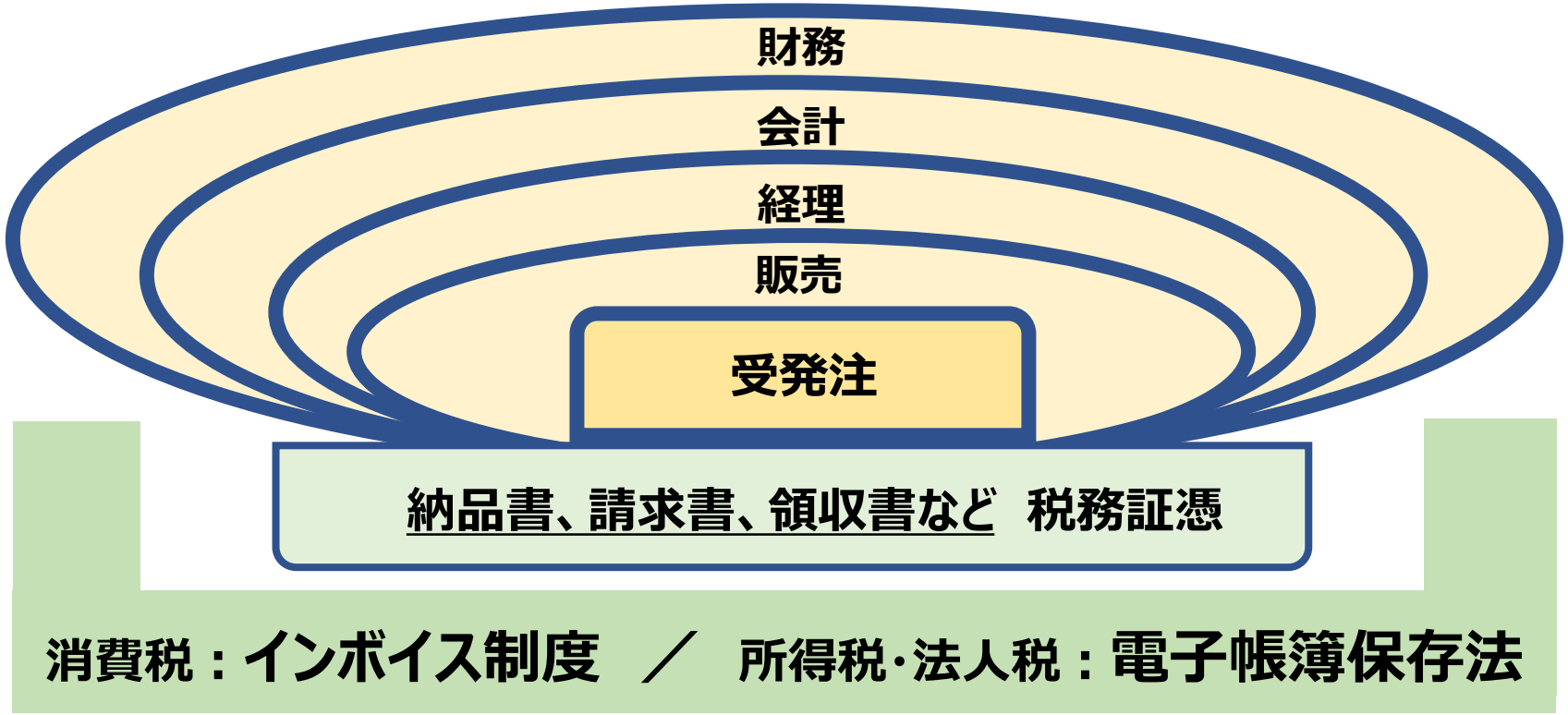
返品や値引き、取引中止等、
新たなインボイスを追加発行
(訂正や上書き運用が無い)

真実性と可視性が担保され、(税務署に対し)整然とビジネス情報を提示できること

新たな税制対応が必要な受発注について

■全ての課税事業者はインボイス制度、電子取引を１社でも行えば電帳法の対応が必須

➡　二つの税制対応を組込む『受発注』は、企業活動支えている重要業務でもあります



新たな税制対応の前に、税務証憑に関わる業務環境は？

税務証憑に関わる業務を取り巻く（一般的な）課題

■受発注業務が抱える課題

- **高騰するコスト**　：　郵便・切手代、保管用書庫代など
- **効率の悪化**　：　処理量や手続きの増加に度重なる残業で対応など
- **業務の属人化**　：　受発注共に多くの手続きがあり、流れは複雑でベテランしか処理出来ないなど
- **ヒューマンエラー**　：　電話の聞き間違い、FAXの誤読、紙伝票の転記ミス、部門間の持ち回りミスなど
- **オフィスでしか業務が行えない**　：　リモート業務不可（コロナ禍のような社会環境不適）

➡ **ビジネス状況のリアルタイム把握不可**　：　迅速なビジネス判断・コントロールが出来ない

■パフォーマンスが上がらず業績向上に寄与しない業務となっていないか

■更に、対応必須の新たな税制（インボイス制度・電帳法）組込みが控えている状況

この難局をどう切り抜けるか？

もしも、新たな税制対応の組込みで、多くの課題が解消するとしたら・・・

業務環境を強化するインボイスdeDXサービス

■コスト低減
ペーパレスの業務運用により、
・郵便や切手代、書庫代が不要

■効率改善
・印刷／封入などの手作業が不要
・得意先には自動でメール通知

■属人化解消
・データのアップ／ダウンロードのみ
（人を選ばず簡単操作）

■ヒューマンエラー低減
・会社間や部門間を問わず
クラウド上の単一データで運用
（転記ミスや連携ミスの大幅低減）

■リモート運用の導入
・ネットと端末があれば運用可能

電子インボイス作成
＆長期保管
（検索キー付与）

得意先・拠点等の
担当者に向け
自動メール発信

真実性・可視性
を担保した保管
（電帳法対応
10年保存）

他サービスやPKG
からのインボイス
長期保管

保管・蓄積データからビジネス状況を把握
時間・場所を選ばずデータ参照・分析が可能
（ビジネス判断の即時性が大幅に強化）

インボイスdeDXとは、

**インボイス制度・電帳法の
両制度にシームレス対応**

同時に、

**標準化され簡単な操作で
電子受発注（ペーパーレス）
の業務構築を実現**

従って、

**法制度対応と
業務環境の強化・改善
を提供**

**新たな価値を提案する
クラウドサービスです**

両制度への対応アプローチついて

他社の対応アプローチ

インボイス制度対応製品＋アルファ ＋ 電帳法対応製品＋ベータ

インボイス制度対応

- インボイス生成
- インボイス保存
- 発行・控え保存 ------ 受領・保存

電子帳簿保存法対応

- 7年間保存
- 改ざん防止　真実性の確保
- 検索機能　可視性の確保

インボイスdeDXサービス　単独でシームレス対応

しかも アルファ や ベータ もありません

■ 他社は制度毎の対応
- ・インボイス対応の製品・サービス
- ・電帳法対応の製品・サービス

➡ コスト増
➡ 運用負荷アップ

■ 更に、アルファやベータも
- ・アクセスユーザ数
- ・インボイス帳票数
- ・発行タイムスタンプ数
- ・ストレージ容量　等など

➡ 階段型の従量コスト
（運用途中で使用料アップ）

■ 両制度に対応した
シンプルな製品・サービスは？

それが

インボイスdeDXサービス価格と商談状況

■初期費用　5万円
　：サービス導入コンサル
　：クラウドサービス側の初期設定等の費用

■**スタンダード**　35,000円／月　**（インボイス送受信＋電帳法対応）**
　：インボイス生成+メール送信＋検索キー自動付与
　：電子帳簿保存法対応（10年保存、真実性と可視性を確保）
　：下記ライト商品も内包（他サービスからのインボイス受信）

■**ライト**　3,500円／月　**（電帳法対応）**
　：当サービス以外から受信したインボイスの電帳法対応
　：例えば、一般消費者向け代理店での運用など

■その他、個別カスタマイズ：別途お見積り

※月々の金額は、固定金額で発行枚数や保存枚数の制限はありません
※価格はすべて税抜きです

■商談状況（昨年12月にサービスをリリース）

- 契約ユーザ　７社
- 運用中ユーザ　２社
- 評価中ユーザ　３社

■事例

食品卸売業　I社様
全国200社の代理店向けの納品書・請求書発行を電子化
トータル発行枚数　700枚/月
削減経費　切手代だけで　6万円/月

建設資材卸売業　H社様
全国500社の代理店向けの納品書・請求書発行を電子化
トータル発行枚数　500枚/月
削減経費　切手代だけで　5万円/月

➡　両社共通コメントとして、
『紙帳票の業務には戻れない』と仰っています

当サービスの紹介とカスタマイズ販売について

①インボイスdeDXサービスを『そのままご紹介』

紹介先が当サービスを契約・運用中は、紹介料を　**毎月5000円／社　お支払い**します。

・　パートナー様は、自社エンドユーザ様にご紹介

・　本サービス契約中ユーザ様は、得意先企業様にご紹介

※　ご紹介前に弊社まで事前連絡をお願いいたします

②インボイスdeDXサービスを『カスタマイズして自社エンドユーザ様にご提供』

当サービスのソースコードを㈱ウィットソフトウェアより購入（５万円＋税）頂き、カスタマイズ版インボイスdeDXサービスとして提供できます。
この場合、当サービスはカスタマイズ版としての特別仕切り価格を用意します。
当サービスはサブスクモデルなので、　**仕切り販売による売上が　毎月ユーザ毎に発生**します。

弊社クラウド上に独立したコントロールファイルを立ち上げますので、自由なカスタマイズを施しサービス提供することが可能です。

・　CSV取込みのインターフェース、帳票フォーマット、追加メニューなど

・　販売管理ソフトと当サービスの連携カスタマイズなど　　（例えば、WIT販売管理＋インボイスdeDX連携など）

複数ユーザに提供する場合のソース再購入は必要ありません。本プログラムはMagic XPA4 のマージ機能のみを使って作成しています。
※　但し、本プログラムを用いてインボイスdeDXサービスとは無関係の独自サービス提供はできません

③『自社ブランドの新規サービスとしてエンドユーザ様に提供』：ご相談に応じます。

※上記①／②／③共に、Magic製品、データベース製品のライセンス費は、弊社サザンブリッジが負担いたします。

まとめ

- 全ての課税事業者は、本年９月までにインボイス制度への対応が必須
- １社でも電子取引を行う場合、本年末までに電子帳簿保存法への対応が必須

インボイスdeDXサービス　単独で両税制に対応

不要となる切手代相当で利用可能、税務証憑まわりの業務環境を強化
自社ユーザ様や得意先様に、『旬でお得な提案』を

今回のシステム対応を喫緊の法制度対応だけの観点ではなく
業務環境の改善（コスト、運用効率、リアルタイム性など）
新たな顧客提案に向け、気の利いた商材として
インボイスdeDXサービスを御社DXやビジネス推進にお役立てください

【ホームページとカタログ】 https://invoicededx.com/

https://packagesoft.magicsoftware.com/southernbridge01

【動画デモ】 https://youtu.be/cM9dRd6dfTc